

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P245～252参照

高等部【外国語】 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

■ 特別支援学校高等部学習指導要領(H31)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 高等部2段階の内容を習得し、一部、高等学校や小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 高等部の段階の指導が難しい場合は、中学部、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P245～252参照

高等部【外国語】 1段階 ※必要に応じて設けることができる

目標					
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等			
ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
内容			1学年	2学年	3学年
※外国語科においては、英語を履修させることを原則とすること。					
【知識及び技能】 ア 英語の特徴等に関する事項: 実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動 (ア)英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。 ㊦ 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くこと。 ㊧ 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。 ㊨ 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。					
【思考力、判断力、表現力等】 イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項: 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを表現すること (ア)簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 (イ)身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすること。					
ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項: イに示す事項については、アに示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する (ア)聞くこと ㊦ 自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。 ㊧ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取る活動。 (イ)話すこと【発表】 ㊦ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をする活動。 (ウ)話すこと【やり取り】 ㊦ 挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。 (エ)書くこと ㊦ 活字体の大文字、小文字を区別して書く活動。 ㊧ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動。 ㊨ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。 (オ)読むこと ㊦ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。 ㊧ 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音する活動。					
② 言語の働きに関する事項: 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げる (ア)言語の使用場面の例 ㊦ 特有の表現がよく使われる場面 ・挨拶 ・自己紹介 ・買物 ・食事 ・道案内 ・旅行 など ㊧ 生徒の身近な暮らしに関わる場面 ・学校での学習や活動 ・家庭での生活 ・地域での生活 など (イ)言語の働きの例 ㊦ コミュニケーションを円滑にする ・挨拶をする ・呼び掛ける ・相づちを打つ ・聞き直す など ㊧ 気持ちを伝える ・礼を言う ・褒める ・謝る など ㊨ 事実・情報を伝える ・説明する ・報告する ・発表する など ㊩ 考えや意図を伝える ・意見を言う ・賛成する ・承諾する ・断る など ㊪ 相手の行動を促す ・質問する ・依頼する ・命令する など					

【学びの履歴】各教科

高等部【外国語】 2段階 ※必要に応じて設けることができる					
目標					
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等			
ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
内容			1学年	2学年	3学年
※外国語科においては、英語を履修させることを原則とすること。					
【知識及び技能】 ア 英語の特徴等に関する事項:実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動 (ア)英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。 ⑦ 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くこと。 ① 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。 ② 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。					
【思考力、判断力、表現力等】 イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項:具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを表現すること (ア)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うこと。 (イ)身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすること。					
ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 イに示す事項については、アに示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。 (ア)聞くこと ⑦ 自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。 ① 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。 ② 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真を参考にしながら聞いて、必要な情報を聞き取る活動。 (イ)話すこと【発表】 ⑦ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを話す活動。 (ウ)話すこと【やり取り】 ⑦ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。 (エ)書くこと ⑦ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。 ① 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動。 (オ)読むこと ⑦ 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。 ① 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを、挿絵がある本などの中から識別する活動。					
② 言語の働きに関する事項 2段階の言語活動を行うに当たっては、1段階の言語の働きに関する事項を踏まえ、生徒の学習状況に応じた言語の使用場面や言語の働きを取り上げる					